

## 横田基地の軍民共用化に反対する要望書

横田基地は、昭和15年に設置された陸軍多摩飛行場が、戦後接收され米軍基地となりました。昭和30年代には数次にわたり拡張され、現在では、滑走路が瑞穂町の中心部をえぐるように伸びています。

近年のCV-22オスプレイの配備や人員降下訓練におけるパラシュートの基地外への落下などにより、町民はこれまで以上に航空機騒音に悩まされ、いつ起こるともしれぬ航空機事故に不安な日々を送っています。加えて、建築物の高度制限等の土地利用上の制約もあることから、町の発展を大きく阻害しています。

そのような中、平成31年4月19日、「政府は、2020年東京五輪・パラリンピックに向けて首都圏の空港の発着数を増やすため、在日米軍横田基地の臨時的な軍民共用化を打診した。（中略）日本側は、実現すれば民間機の恒久的な乗り入れに道を開くことになると期待している。」との新聞報道がありました。

瑞穂町はこれまで長きにわたり、軍民共用化反対を関係機関に申し入れてきましたが、地元の声が聞き入れられず、このような報道に接したことは誠に遺憾です。

これまで国策による施設であるとして耐え忍んできましたが、経済や利便性のみを追求し、これ以上の騒音の増大をもたらす軍民共用化の推進は、容認できるものではありません。飛行直下に位置し、航空機騒音被害をより多く受けている当町の実情をご賢察くださいますようお願いいたします。

平成31年4月19日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

外務大臣 河野 太郎 様

国土交通大臣 石井 啓一 様

防衛大臣 岩屋 毅 様

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣 鈴木 俊一 様

北関東防衛局長事務代理 北関東防衛局次長 佐藤 隆章 様

駐日米国大使 ウィリアム・F・ハガディ 様

在日米軍兼第5空軍司令部司令官 ケビン・シュナイダー中將 様

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 杉 浦 裕 之